

音楽の都ウィーンより、
超絶技巧の名手たちが待望の3度目の来日!

ヤーノシュカ アンサンブル Janoska Ensemble



Ondrej Janoska, violin Julius Darvas, double-bass Frantisek Janoska, piano Roman Janoska, violin
オンドレイ・ヤーノシュカ, ヴァイオリン ユリウス・ダルフナス, コントラバス フランティシェク・ヤーノシュカ, ピアノ ローマン・ヤーノシュカ, ヴァイオリン

〈主な予定曲目〉

「キャンディード」序曲(バーンスタイン)、2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調(J.S.バッハ)、
イエスタデイ(レノン=マッカートニー)、
エリーゼへの贈り物～ベートーヴェンの「エリーゼのために」による～(F.ヤーノシュカ)、他

※都合により、曲目等を変更する場合がございます。予めご了承ください。

世界で話題沸騰中!

磨き抜かれた演奏技術と斬新なアレンジで
聴く人を魅了する室内楽をお聴き逃しなく!



特設サイト
(動画あり)

©Julia Wesely

公演日程(2024年)

2月9日(金)6:30p.m.

枚方市総合文化芸術センター 関西医大 大ホール

2月10日(土)2:00p.m.

京都コンサートホール 大ホール

入場料金:S席 ¥6,000 A席 ¥5,500<税込>

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。

主催:MIN-ON 後援:オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京 TMオーストリア文化フォーラム

austrian cultural forum

●チケットのお求めは

チケットぴあ	https://t.pia.jp/ [Pコード:252-669]
ローソンチケット	https://l-tike.com/ [Lコード:92940]
イープラス	https://eplus.jp/
CNプレイガイド	0570(08)9999
枚方市総合文化芸術センター	072(845)4910[2/9公演]
京都コンサートホールチケットカウンター	075(711)3231[2/10公演]
オンラインチケット購入	https://www.e-get.jp/kyoto/pt/
ロームシアター京都チケットカウンター	075(746)3201

11月16日(木)
発売開始!

●お問い合わせ

MIN-ON関西 06(4304)9516
月～金(祝日を除く)営業時間10:00～17:00





© Andreas Bitesnich

解説 Commentary

ヤーノシュカ・アンサンブルは、クラシックの名曲を中心に、ジャズや民族舞曲のテイストもまじえて演奏する4人組だ。ヴァイオリン2人とコントラバス、ピアノという編成で、美しいメロディを驚きのアレンジで、楽しさ満点にきかせてくれる。

2020年の初来日では、ヨハン・シュトラウスの『こもり』序曲にロシア歌謡のメロディを混ぜ、スピード感あふれる展開で客席をわかせると、続いてクライスラーの『愛の悲しみ』やマスネの『タイスの瞑想曲』の美しい旋律をきかせる。さらにビートルズの名曲『イエスタデイ』をバッハの曲のリズムで奏でたり、モーツァルトをルンバに変身させたりと、あっというまの2時間だった。

クラシックの素養と技術をしっかりと身につけたメンバーのうち、2人のヴァイオリン奏者は、兄がクラシックの本格派なのに対して、弟はジャズ風など越境的なスタイルも得意と個性が異なり、幅広い表現が可能だ。

大好評を受けて2022年に実現した2回目の日本ツアーでは、サード・アルバム『The Big B's』の曲目をとりあげていた。バッハ、ベートーヴェン、ブラームスの「三大B」に、バーンスタイン、バルトーク、ブルーベックという20世紀の作曲家を加えた「六大B」。メンバーの子どもたちに捧げる自作もまじえ、それらは原タイトルの最初の文字をすべて「B」でそろえる徹底ぶり。

こちらも、ベートーヴェンの9つの交響曲のエッセンスを9分間にギュッとまとめた『9つの交響曲を9分で』や、芸風の異なる兄弟の競演がききもののバッハの『2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調』など、18世紀のバッハから現代まで、作品の多彩な個性を活かしながら多様なアレンジをまじえて、とことん楽しませるプログラムだった。息のあった4人の3回目となる日本公演。こんどはどんな曲をどんなアレンジで驚かせ、楽しませてくれるのか。その日がいまから待ち遠しい。

音楽評論家 山崎浩太郎

プロフィール Profile

ヤーノシュカ・アンサンブルは、ブラチスラヴァの音楽一家で生まれたヤーノシュカ兄弟(オンドレイ、ローマン、フランティシェク)と義理の兄弟、ユリウス・ダルファスの4名で構成されている。

メンバーを率いるのは、ピアノを担当するフランティシェク・ヤーノシュカ。フランティシェクは、2002年にハンガリーのジェルで開催されたリスト国際ピアノコンクールで優勝を飾った実力派。これまでロンドン交響楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団等の世界名門オーケストラと共演しながら、作曲、編曲家としても活躍している。ジャンルを問わず、音楽に変幻自在の彩りを添える“鍵盤の魔術師”と称されている。ヴァイオリニストのローマン・ヤーノシュカは、ヨーロッパのあらゆるコンクールで賞を受賞し、クラシックだけでなくジャズ・ヴァイオリニストとしても世界中で活躍している。ヴァ

イオリニストのオンドレイ・ヤーノシュカは、著名なヴァイオリニスト、ボリス・クシュニールのもとで学び、様々なコンクールに入賞。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団では第一ヴァイオリンとして演奏。そして、コントラバス奏者のユリウス・ダルファスは、ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。2001年より、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のステージ・オーケストラの一員として活躍。2016年に、世界で最も長い歴史を持つクラシック音楽のレコードレーベル「ドイツ・グラモフォン」から、アルバム『ヤーノシュカ・スタイル』をリリース。オーストリアのみならず世界で大ヒットした。それに続き、2019年にアルバム『REVOLUTION』をリリース。2022年、ニューアルバム『THE BIG B's』をリリース。2024年10月に、4枚目となるニューアルバムをリリース予定。